Maebashi Ikuei High School Journal

前橋育英高校報

ikuei

題字　中村有三　前学園長

建学の精神 ～正直・純潔・無私・愛～

令和6年度全国高等学校総合体育大会 ありがとうを強さに変えて 北部九州総体2024 結果！

レスリング部　藤田 眞妃琉

1年生での出場、もちろん初めてのインターハイなので、とてつもない緊張と不安がありましたが、普段から指導してくださっている先生方や先輩方、たくさん応援してくれていた家族や仲間のおかげで、優勝することができました。

大会期間中に改めて感じたことは、練習を重ねた分だけ自信をもって戦うことができるということです。そして自分一人の力ではインターハイのマットの上に立つことすらできなかったはずです。周りで支えてくれている人達のおかげで、優勝を勝ちとることができたのだと思います。

私にはまだまだ課題が山ほどあり今回のインターハイが終わりではないので、また目標を新たに次に向けて頑張っていきます。

レスリング部 顧問　富塚 拓也

8月1日～4日、佐賀県嬉野市で行われたインターハイに、レスリング部一年の藤田眞妃琉が出場しました。関東大会から厳しい予選で、本戦でもポイントが動かず接戦が続きました。そのなかでも粘り強く戦い、自分の攻め手を徹底することで着実に勝ち進み優勝することができました。

本人は普段から大学生とも練習を重ね、トレーニングや技術練習などの、地道な努力を続けることで自信をもち大会を迎えることができたと思います。一緒に練習する同級生や大学生、サポートしていただいている学園、家族、スタッフなどの多くの人たちの支え、皆様の応援が後押しとなり今回の優勝へと繋がりました。皆様応援ありがとうございました。

ウエイトリフティング部 部長　篠﨑 優

高校最後のインターハイは種目別でスナッチ3位・C&J優勝、総合で2位という結果で終わりました。私は以前から試合での精神面が弱く失敗が重なり、自分の納得のいく試合ができていませんでした。しかし、今大会では全力を尽くし結果につなげることができました。今まで支えてくれた監督・家族・仲間への感謝の気持ちを強さに変えることができたと強く感じています。今後も感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思います。

ウエイトリフティング部 監督　原 徹

令和6年度のインターハイが長崎県諫早市で開催され、本校から81kg級篠﨑優が出場しました。全国選抜大会では優勝を狙っていた中3位となり、悔しい思いを持ちインターハイに臨みましたが、直前に古傷の膝を痛め不安な状態での試合となりました。スナッチ1試技目の119kgを成功させましたが、2・3試技目の122kgを失敗して、1位と7kgの差が開きジャークで逆転を掛け臨み3試技すべて成功で152kgを挙げ、ジャーク種目で1位、トータル2位の結果でした。念願の優勝には一歩及びませんでしたが、よく健闘したと思います。

弓道部 部長　菊池 一葉

私達は全国大会ベスト8を目標とし日々練習に励んできました。当初は予選突破も厳しいチームでしたが、一人一人の努力で全国に届くチームになったと思います。思うような結果が出せず悔しい思いもしましたが、諦めずに目標を達成することができたのは、顧問の先生方によるご指導と部員の支えだと思っています。そして、多くの方に応援していただきインターハイで女子団体8位に入賞することができました。本当にありがとうございました。

弓道部 顧問　真下 智紀

8月3日から6日まで長崎県島原市で行われた全国高校総合体育大会弓道競技女子団体で8位に入賞することができました。創部以来初のインターハイの団体入賞となりましたが、生徒は本当に頑張ってくれたと思います。昨年度の夏に全国大会ベスト8を目標に掲げ、練習をしてきた成果が出せたことを大変嬉しく思います。ここまでチームが成長できたのは、保護者の皆さまをはじめ、学校関係者、弓道専門部の先生方など多くの方に協力いただいたことだと思います。ありがとうございました。

CONTENTS

特集　1～3面
・挨拶
・進路指導部より
・部活動実績

保護者会だより　4・5面
・保護者会長挨拶
・全P連大会報告
・関P連大会報告
・我が子を語る
・吹奏楽部定期演奏会

同窓会だより　6面
・同窓会長挨拶
・親子二代同窓生
・2025年度同窓生の集い

後援会だより　7面
・後援会長挨拶
・定期総会
・援助金贈呈式
・コラム育英Ⅱ

トピックス　8面
・全国大会出場決定
・体育祭を終えて
・産学連携探究プロジェクト

理事長挨拶

中村　義寛

前橋育英高等学校は1963年、昭和38年に男子校として開校、その後男女共学校となり、学科・コースの変遷を重ね現在は、普通科特別進学コース・総合進学コース・スポーツ科学コース・保育コースの個々の希望、能力に合わせた特色のある学科コース構成となっています。

今年で62年目を迎えた前橋育英高等学校は2万8千名に及ぶ卒業生を輩出し、それぞれの方々が多方面で活躍されています。

本校は「正直・純潔・無私・愛」の4つの道義標準に則り、常に国際的視野に立ち、社会の福祉と世界の平和に寄与できる有為な人材の育成を図ることを建学の理念に据え、生徒の能力・適性・進路に応じた目的別教育を行ってきました。

今後も教育内容・施設・設備の充実、改革を実行し、生徒のことを第一に考える前橋育英高校で在り続けます。

校長挨拶

二渡　諭司

日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

本年4月に着任して以降、育英高校の様々な教育活動を実際に見て、そして参加する中で生徒たちと交流し、本校に対する愛着が日々高まりつつあることを感じています。スポーツ強豪校と呼ばれるにふさわしい部活動の活躍はもちろん、吹奏楽部の定期演奏会や学校説明会、体育祭などの学校行事を目の当たりにして感じることは、大規模校でありながらもアットホームで学校全体を包み込む温かい雰囲気があること、そして何より教職員が生徒に対してきめ細かな指導を実践していることです。これらは本校の最大の武器だと言って良いでしょう。

全国的に生徒の急減期を迎えている今、本校は生徒の多様なニーズに応え、一人一人がもつ資質・能力を最大限に伸張させるために、この武器とスケールメリットを最大限に生かせるよう努めてまいります。皆様には今後ともご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

副校長挨拶

中西　信之

私、4月に副校長として着任いたしました。年度当初より生徒や職員、また関係各位から励ましのお声をかけていただき、安心して新たな環境に身を置くことができましたこと、安堵するとともに感謝の気持ちでいっぱいです。これまでは外から見ていた育英高校の一員となった今、学園がさらに発展し、群馬県における私学の雄として他をリードする存在へと成長するためのお力添えができるよう、微力ながら努めさせていただく所存ですので、今後ともご支援いただきますようお願いいたします。

私の信条である「練習は不可能を可能にする」という精神のもと、小さな努力を積み重ね、育英高校の新たな時代を創るべく頑張っていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

教頭挨拶

上原　敏広

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、今年本校に新たな風が吹きました。校長先生、副校長先生、相談役の先生を外部からお招きすることとなりました。わたくしたち職員にとっては、新顔の先生方ではありますが、お三方いずれもご経験豊かな大先輩となります。今その謦咳に接して、これまでとはまた違った視座での物事の捉え方、進め方などを学んでいるところです。

私たち教職員がさらに見識を深め、大所高所からの念慮を加えての教育活動が一層活発にできるよう、みなで学びあい高めあっていきたいと考えております。それらは教育現場で生徒のみなさんへ必ず伝播していくものだと信じております。そして本校の歴史と伝統の上に新たな1ページを開いてまいりましょう。

事務長挨拶

平澤　精人

日頃のご理解・ご協力に心から感謝申し上げます。

今年度4月から新しく事務長として就任して以来、今日まで多くの方々と共に仕事をさせていただき、酷暑猛暑の夏を越え、気が付けば、冬の季節を迎えているところです。

これまで、育英大学・短期大学教務課で12年間、学園本部総合企画部で3年間、高等教育行政に関する様々な経験を積ませていただきました。自身としては、満を持して新しい重責に挑戦させていただいております。

私学として建学の精神のもと、新しく着任された二渡校長を中心に、全ての教職員が協働すれば、今後迎える厳しい状況にも笑顔で乗り越えて行けるものと信じております。

引き続き、皆さまのより一層のご支援を賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

令和6年度 主な施設整備について（報告）

今年度の主な施設整備として、家庭科被服室の作業テーブル・椅子の更新、全ホームルーム教室分別ゴミ箱の更新、食堂用食券販売機の更新（新札対応）、誠心館1階トイレ洋式化工事（男子用）、夏季休業期間を利用し校舎屋上防水シート張替工事、ピアノ練習室空調改善工事などの教育環境の整備を行いました。

また、冬期休業中を利用し野球場とグラウンド整地工事を予定しています。

これからも多様なニーズに即した教育環境の充実を図っていきたいと思います。

ピアノ練習室（空調）

家庭科被服室（テーブル・イス）

食堂（券売機）

屋上（防水シート）

地域懇談会の開催

本校では毎年、学校近隣の「朝日が丘町」、「上新田町」、「光が丘町」、「大利根町」の各自治会役員の方々をお招きし、本校管理職と地域住民の方々との情報交換の場を設けています。

去る6月25日（火）に開催した今年度の地域懇談会では、各自治会から代表者9名の方々にご参加いただき、学校より最近の行事、クラブ活動等の成果報告をさせていただき、懇談へと移りました。

自治会役員の方々からは、本校生徒の登下校時の自転車マナー（交差点での一時不停止、ヘルメットの装着率）などの問題点や生徒を送迎する保護者の運転マナーなどに関するご意見・ご指摘をいただきました。

また、夏祭りなど地域行事への参加や、大規模災害時の避難場所としての協力など、本校に対してご要望をいただきました。

今後も自治会の方々との情報交換を活発に行い、ご意見、ご指摘を真摯に受け止め、皆様に親しまれ、地域に貢献できる前橋育英高校を目指していきたいと思います。

部活動実績　2024 Summer～Autumn

ウエイトリフティング部

北部九州インターハイ2024
男子81kg級　篠﨑優（3年）
トータル271kg　準優勝

国民スポーツ大会 SAGA2024
男子81kg級　篠﨑優（3年）
トータル287kg　優勝

レスリング部

北部九州インターハイ2024
女子74kg級　藤田眞妃琉（1年）
優勝

女子柔道部

北部九州インターハイ2024
女子団体　ベスト16
女子個人
栗原あづ（3年）　ベスト16
関口栞（3年）　ベスト16
山崎葵（3年）　ベスト32

関東選抜柔道大会
女子個人　鶴木葵（2年）　優勝

男子バスケットボール部

北部九州インターハイ2024
1回戦　対 九州学院　68-84

ウインターカップ2024
全国高等学校バスケットボール選手権大会県予選会　優勝

ゴルフ部

国高等学校ゴルフ選手権大会
谷寧々（3年）　出場

群馬県女子アマチュアゴルフ選手権
臼田藍（1年）　優勝

陸上競技部

北部九州インターハイ2024
男子400m
山鹿快琉（3年）　48秒45

男子5000m
内田蒼空（2年）　14分56秒48

男子4×400mリレー
3分18秒08
山鹿快琉（3年）・阿部咲斗（2年）
横山純ノ佑（2年）・比企泰聖（1年）

国民スポーツ大会 SAGA2024
成年少年男女混合1600mリレー
群馬県チーム　4位（3分21秒67）
第3走者　山鹿快琉（3年）

男子サッカー部

第103回全国高等学校サッカー選手権大会
群馬県大会　優勝（4連覇）

女子サッカー部

第33回 群馬県高等学校女子サッカー選手権大会
優勝（12連覇）
全国選手権大会出場権獲得

皇后杯群馬県女子サッカー選手権大会　優勝（2連覇）

ボクシング部

北部九州インターハイ2024
女子ライトフライ級
岡部月香（3年）　3位

弓道部

北部九州インターハイ2024
女子団体　8位入賞

硬式野球部

第106回全国高校野球選手権群馬大会　ベスト4

第77回秋季関東地区高等学校野球大会
群馬県予選　ベスト4

女子ソフトボール部

群馬県高等学校新人ソフトボール大会 兼 第43回全国高等学校ソフトボール選抜大会県予選会 兼 第55回東日本高等学校女子ソフトボール大会県予選会　優勝

剣道部

群馬県学校対抗選手権大会
男子団体　優勝（8年ぶり4回目）
男子個人
宮口煌生（2年）　優勝
石川宗太郎（2年）　準優勝
小泉里樹（2年）　3位

日本海旗争奪高校剣道大会
男子団体　準優勝

第17回上毛新聞社旗争奪高校大会
男子団体　優勝（群馬県勢初）

水泳部

群馬県高等学校選手権水泳競技大会　男子　総合優勝

囲碁将棋部

第48回全国高等学校総合文化祭
将棋部門 女子個人戦
髙平優月（3年）
決勝トーナメント出場

進路指導部より

人生の岐路

進路指導部主任　西岡 良幸

元日に発生した能登半島地震に始まり、今年も多くの自然災害に直面しました。災害時の選択はその人の運命を大きく左右しますが、生徒たちの日常にも、運命を左右するほどの「選択（岐路）」が存在しています。

高校三年間はまさに岐路の連続です。常に選択を迫られる中で、生徒一人一人が自己実現や進路実現に適した選択ができるよう、本校では進路行事を企画しています。

第一学年では多様な企業と連携して職業体験や企業訪問を実施することで、生徒たちが社会を知り視野を広げる契機としています。

第二学年では大塚製薬様やクスリのマエ様の全面協力のもと、マーケティングや商品開発の基礎に触れ、探究的姿勢やプレゼンテーション能力の育成・強化に取り組みました。

そして第三学年では、進路実現に向けた最後の仕上げとなる学習指導や推薦試験対策が、今まさに佳境に入っています。

生徒一人一人が、日々の生活や人生の岐路で最適な選択ができるよう、教職員も一丸となって挑戦し続けていきます。

保護者会だより

保護者のみなさまへ

保護者会長　大澤　智之

皆さん、こんにちは。保護者会長の大澤智之です。

昨年に引き続き、今年も暑い日が続いております。10月に入ってからも真夏日の30度超えの日があるなど、体調の管理が難しく、苦慮している保護者の皆様も多いかと思います。

さて、夏休みが終わり3年生は大学入試に向けた動きが活発化しており、入試先の選定や資金面での不安など、保護者の方も落ち着かない日々を過ごされているのではないでしょうか？クラブ活動では2年生にバトンタッチしたところも多いですが、サッカー部・男子バスケットボール部は、まだ大きな大会が残っておりますので、期待を寄せているところです。

そして、私たち保護者会の活動も昨年の5月8日から、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行したことにより、徐々にではありますが、本来の姿に戻りつつあります。まだ決して油断できない状況ではありますが、やっと子どもたちの元気な声や笑顔が戻ってきたことをとてもうれしく思います。

保護者会活動が何もできなかった2年間は、子どもたちだけではなく、私自身も、そのような「あたりまえに過ごしていた何気ない時間」が、どれだけありがたいことなのかを実感いたしました。高校の3年間はあっという間です。子供たちと一緒に保護者のみなさまにも学校行事に取り組めるような活動を増やしていきたいと考えております。

結びになりますが、校長先生や教職員の皆さまのご尽力に感謝を申し上げるとともに、より良い保護者会活動が行えるよう、役員一丸となって取り組んでまいりたいと思います。

今後とも保護者会の活動にご理解・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

第73回全国高P連 茨城大会に参加して

体育副委員長　原澤　学

8月22日・23日の二日間、水戸市を中心に開催され、校長先生と保護者会本部役員3名で参加させていただきました。

5つの分科会が設定されており、参加した第2分科会では、「保護者・教師・生徒が抱える問題と解決法」をテーマに医学博士 司馬理英子氏の「のび太・ジャイアン症候群」と題したADHD障害について講演を拝聴した中で、障害を持ったご本人はもとよりご家族や先生方々の苦労を少しばかりですが、知ることができました。

今後も子供たちが持てる力を十分発揮できるような環境整備を目指して、世の中の変化に対応したPTA活動を模索して参りたいと思います。

第70回関P連大会報告

文化副委員長　山田　直子

7月23日・24日の二日間に亘り、幕張メッセにて、第70回関東地区高等学校PTA連合会大会千葉大会が開催され、本校からは4名が参加いたしました。

1日目の記念講演では、「高校生の問題行動」という演題のもと、情報モラル教育の重要性、ファクトチェックの必要性など興味深く拝聴しました。2日目に参加した分科会では、山梨県立韮崎高校PTAによる模擬試験実施協力の取組み、神奈川県立舞岡高校PTAによる敷地内竹林整備とそこから展開された地域活動への取組みについて、二校の発表を拝聴しました。

二日間を通し、柔軟に対応することの重要性を改めて感じさせられた大会でした。

陸上競技部保護者（生徒名）三年間を振り返り

塚田　直人（涼晴）

私はこの三年間、日々成長する子供たちの姿を見ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。学校での生活は学びだけではなく友情や助け合い、挑戦の場でもありました。特に部活動での彼らの活躍は大きな誇りです。

先日、三年生は部活動を引退しましたが、その姿にはとても感慨深いものがありました。引退式では涙を流し、仲間を送り出し、次のステップへ進む決意を示していました。仲間と共に喜びや苦しみを分かち合った経験は、彼らにとってかけがえのない思い出となるでしょう。

このような経験ができたのも、日々指導してくださった先生方のおかげです。心から感謝しております。そして保護者の皆様、いつも応援してくださった方々、誠にありがとうございました。

ボクシング部保護者（生徒名）一意奮闘

佐藤　恵理（愛花）

オープンキャンパスに参加し部活動の多さと輝いて見えた先輩方に憧れ、娘は前橋育英高校に入学しました。

ボクシング部に入部し、未経験ということもあり、練習が辛い時もあるようでしたが、先輩や顧問の方々に指導いただきながら皆が頑張っているからと、休まず努力している姿を誇らしく思います。

休みの日も遠征に行くことがあり、顧問の先生にご協力いただきながら様々な経験をさせていただいております。

マス大会で優勝した後、上級生との大会ではなかなか勝つことが難しく悔しい思いをしてきました。10月の新人戦にて勝利することはできたものの、本人は試合内容に満足せず自身の課題を話す姿に成長を感じております。

これからも、先輩方や顧問の先生にご指導をいただきながら、後輩にも伝えていけるよう努力していってもらいたいと思います。

ラグビー部保護者（生徒名）

コアバリュー

木暮 美佐緒（洋太）

「Enjoyラグビー！」これはラグビー部のイメージです。体がぶつかり合う激しい競技ですが、笑顔が多く個性が溢れているチームです。選手はラグビー初心者がほとんどですが、試合ができるまでに育て上げてくださる指導者の方々には感謝しかありません。その指導を上級生は下級生に、OBは現役生に教えながら結束を深めていると感じます。この様な絆があるからこそ楽しくラグビーができていると思います。

しかし、怪我も絶えない競技です。親としては怪我をせず帰宅することをいつも願い、食トレで体が大きくなる様サポートをしています。

10月は、このチームでの集大成である花園予選があります。1試合でも多くこのチームでグランドに立てることを願い応援していきます。

美術部、ウエイトリフティング部保護者（生徒名）

努力した三年間

鈴木 暁美（美治）

新入生歓迎会で興味の湧いた部活へ見学に行き、美術部とウエイトリフティング部に入部しました。ふたつの部活を兼部することが心配でしたが、仲間や先生方に恵まれ、充実した日々を送っているようでした。

二年生の総合芸術祭で優良賞を受賞した時は、とても驚きました。夏休み中も毎日頑張っていたのでその努力が報われたのだと思いました。また、インターハイや合宿にも励んでおり、時には弱音を吐いていましたが、諦めずに努力を続ける姿を見て、私も頑張ろうと思いました。

これまでお世話になった諸先生方にはとても感謝しております。そして共に切磋琢磨した仲間たち、ありがとう。

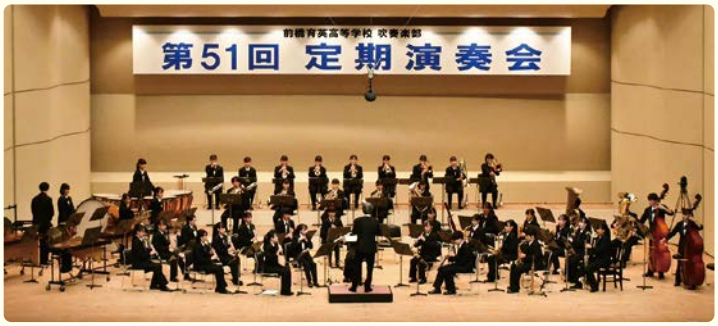
吹奏楽部

第51回定期演奏会を終えて

吹奏楽部保護者会長

吉田 千鶴

先日行われた定期演奏会を最後に3年生は吹奏楽部を引退しました。娘は小学4年生の時に金管バンドクラブ、中学では吹奏楽部に入部し、そして高校でも続けることができました。



高校では中学の時には経験できなかった野球やサッカーの試合で、応援演奏をすることができました。これは育英高校に入学し吹奏楽を続けたからこそ経験できた貴重な体験だったと思います。

私も娘のお陰で沢山の演奏会やイベントを見に行くことができ、とても楽しかったです。私自身も中学、高校と吹奏楽部だったのでその頃のことを思い出して、懐かしく思うこともありました。

残り少ない高校生活ですが、楽しい思い出を沢山作って欲しいと思います。

前橋育英 雄渾 同窓会だより

宥和

同窓会長　新井 信雄（第3期生・昭和43年卒）

令和6年度、前橋育英高等学校同窓会員の皆様方におかれましては、日頃より格別のご配慮、ご支援をいただき心より感謝申し上げます。

会員数も現在2万7，536名の数になりました。昨年と同じく「同窓生の集い」「総会」「懇親会」などに会員各位の出席をいただき盛大に実施できました。

今年1月1日の夕方に発生した石川県能登地方を震源とする地震により多くの方々が亡くなられました。犠牲になられた方々に追悼の意を表すと共に未だに大変な思いをされている被災地域の安全と一日でも早い復興を心からお祈りいたします。

さて本校のスポーツ面では、全国高等総合体育大会が大会愛称「ありがとうを強さに変えて北部九州総体2024」、スローガン「駆け上がれ夢の舞台へ燃え上がれ若人の魂」のもと、大分、佐賀両県を中心に開催されました。

本校からは弓道（女子）、ウエイトリフティング、陸上、柔道（女子）、ボクシング、バスケットボール、レスリング、以上7クラブが出場しました。レスリング部女子の藤田眞妃琉（1年）は見事に74kg級で優勝し、ウエイトリフティング部男子81kg級では、篠﨑優（3年）が準優勝の強さをみせました。なお、国民スポーツ大会「SAGA2024」ではウエイトリフティング部男子81kg級で篠﨑優が実力を発揮し全国の頂点に立ちました。

文化面でも華道部が「花の甲子園2024」にて団体メンバーが敢闘賞を受賞しました。また囲碁将棋部も決勝トーナメントに進出する頑張りがありました。

硬式野球部は、秋季関東地区大会県予選会準決勝戦で、もう一歩のところで残念ながら敗退しました。

女子サッカー部では、全日本高校女子サッカー県予選会にて12連覇を達成し群馬県代表として全日本選手権大会に出場を決めました。

男子サッカー部は、サッカーU-18プレミアリーグにおいて、強豪青森山田高校に勝利し順位を上げ活躍しています。

ボランティア活動などにも積極的に取り組み地域社会から厚い信頼を受けております。

同窓会員は宥和を忘れず、今後も恩師、家族、仲間の励まし、支え、出会いや勇気を持ち、母校の為、一緒に歩んで参りたいと思います。

親子二代同窓生

原 和人（第24期生・平成元年卒）
直美（第25期生・平成2年卒）
実乃梨（第59期生・令和6年卒）

夫は高校時代、硬式野球部に所属し『野球漬け』の毎日を過ごしていました。練習が苦しくて何度も挫折しかけながらも、仲間と共に三年間やり遂げられたことは、かけがえのない経験となったようです。卒業後もOBとして何度も子ども達を連れて、試合観戦に出掛けたものでした。甲子園で全国優勝を成し遂げた年に、スタンドにいた娘は小学校二年生でした。

私は今でも幼児教育に携わっており、この仕事の原点は『楽しいことばかり』だった高校時代であると思っています。娘は高校進学の際、私と同じ保育科の道を選んでくれました。母校に再び足を運ぶことができ、私たちは本当に楽しませてもらったものです。

お陰さまで先生方や友達に恵まれ、娘は充実した三年間を送ることができました。コロナ禍で失われた日々を取り戻すかのように、修学旅行や文化祭などの行事を存分に楽しんだり、英検やピアノの技術などを習得し、自分のペースで学びを深めたりすることができました。また、部活動では仲間と一つの目標に向かって努力する経験を積み重ね、心身共にたくましく成長させていただきました。顧問の先生やチームの皆さんには感謝しかありません。「女子ラグビー部に入る」と言われ、とても驚いたことが昨日のように思い出されます。

娘が卒業し、その年に保育科が長い歴史に幕を下ろすということも何か縁のようなものを感じます。保育科は時代のニーズや生徒の多様性に合わせて形を変えていくとのこと。娘も保育科で学んだことを生かし『広い視野で子どもに関われる仕事をしたい』という夢に向かって歩んでいってほしいです。

長田 明央（第28期生・平成5年卒）
甚太朗（2年）

当時、私の担任は三年間、山田耕介先生でした。厳しくもあり、優しさもあり、何よりも熱い先生でした。息子が入学してお世話になることになり山田先生にご挨拶に伺いました。32年前と何も変わらず、熱い先生で闘魂注入をいただきました。

私は硬式野球部出身です。当時、先輩後輩関係も厳しく忍耐力と言葉づかいが身に付きました。甲子園に出場できなくて悔しい思いがあります。息子も硬式野球部です。11年前の全国優勝の瞬間、息子と甲子園にいました。あの頃から憧れの前橋育英で甲子園で活躍することが目標になりました。

息子が甲子園に出場できるチャンスは来年の夏のみです。何とか甲子園に出場して11年前のように、あの感動をもう一度味わいたいです。親としては陰ながらチームのサポートをしていきます。硬式野球部の応援をよろしくお願いいたします。

前橋育英高等学校

2025年度 同窓生の集い

（同窓会総会・懇親会）

日時　2025年7月5日（土）
午後5時より

場所　アメイジンググレイス前橋
前橋市小相木町772-3

卒業生ならどなたでもご参加OKです!!
お気軽にご参加下さい♪

詳細については後日同窓会HPまたは
Facebookにてお知らせします。

★同窓会のホームページができました★
https://www.mikuei-dousoukai.com/

後援会だより

伝えること・伝わること

後援会長　福島　英人

今年は多方面で選挙を迎える年度になっています。職員へのパワハラ問題等での知事選、そして直近では10月27日に衆議院選挙の投票日となりましたが、既に18才を迎えた育英生は、またそうでない生徒も、卒業までには投票する権利を得ることになります。（私は義務だと思っています。）

ところで、候補者たちの意見・政策等の中身は、私たちに本当に届いているのでしょうか。聞いている側の環境や立場の違いで、伝える側の真意が届いているのか疑問を感じることがしばしばあります。

一つの例として『自転車』という言葉でどんな自転車を頭の中に描くでしょうか。生徒は通学用のもの、保護者は所謂ママチャリ、赤城山を目指すサイクリストは競技用のものを思い浮かべると思います。

伝える側は、自分の伝えたい『自転車』がどんなものなのかを分かり易く明確に話さなくては相手に伝わりません。また、それを聞く側も話し手の真意をくみ取り、理解しようとしなければ誤解を生むことになってしまうのです。

後援会の目的は、建学の精神である『正直・純潔・無私・愛』を基盤として、社会に求められる卒業生を送り出し、併せて育英高校の発展に寄与するところにあります。育英で学ぶ三年間で、自分の真意を間違えなく伝えることができる生徒になれるように、後援会として側面から協力してまいりたいと思います。

日々生徒指導にご尽力いただいている先生方に、心から感謝を申し上げると共に、前橋育英高校の更なる発展を願い、皆様のご協力をお願い申し上げます。

令和6年度 後援会定期総会

副会長　吉田　哲也

去る6月28日、昨年度と同様に対面形式での後援会定期総会が開催され、今年度の事業計画等すべての議案へご承認をいただき、新たな後援会活動がスタートいたしました。

これもひとえに、日頃から後援会の活動へ多大なるご支援とご協力をいただいております、先輩方や会員の皆様方、そして前橋育英高等学校教職員の皆様方のお陰だと心より感謝を申し上げます。

コロナ禍であった数年間、今までお会いできなかった先輩方にも今回の定期総会でお会いすることができて、様々な意見交換をさせていただいたことは、私自身も参加していただいた会員の皆様にとっても、今後の後援会活動を有意義にして行く上では、とても貴重な時間になったと思っております。

また、中村理事長と二渡校長からは、運動部と文化部の各種大会等における素晴らしい成績と活躍を伺い、嬉しさと頼もしさを感じることができました。

三年間という高校生活の中で、生徒達がそれぞれの勉強や部活動を通じて多くのことを学び、常に建学の精神を追い求め、将来のビジョンや目標に向かって取組めるよう後援会としても引続き協力して参りたいと思っております。

生徒の皆さん、どうかこの三年間を共に過ごす友をいつまでも大切にして、友愛と感謝の気持ちを常に忘れず、これからも様々な分野で人々に喜びと感動を与えられる、そんな素晴らしい前橋育英生であって欲しいと願っております。

学校後援会援助金贈呈式

硬式野球部顧問　中沢　洋一

日頃より、前橋育英高等学校のクラブ活動にご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。クラブ顧問を代表いたしまして感謝申し上げます。

さて、令和6年7月19日（金）、本校会議室において、学校後援会深澤勉常任理事、同窓会新井信雄会長にご出席いただき、学校後援会クラブ活動援助金並びに同窓会激励金贈呈式が行われました。お二方より激励のお言葉をいただき、援助金、激励金が各クラブ顧問代表者に贈呈されました。ここで改めて思うことは、『可能と不可能の違いは、それを実現すると決意しているかどうか。心に強く決めれば、できないことはない』ということです。

各クラブの生徒が自分自身、チームの目標に向かい全力で挑めるよう、我々顧問一同、全力でサポートする所存です。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

コラム育英Ⅱ　将来の夢

将来の夢はありますか？と子供の頃によく問われた記憶があります。皆さんもきっと問われた経験があるかと思いますが、その質問はやはり子供の頃に問われることが多くて大人になるにつれて問われなくなるでしょう。将来の夢とはどれくらい先のことなのだろうか？幼少期の子供に聞いてみた答えは、おそらく憧れ的な感覚であり、大人になったらなりたいという気持ちで答え、中高生は近い将来、職業となる現実味帯びた答えになると感じます。では、成人社会人の大人に聞いてみたらどうでしょう？笑ってしまう人、考えこんでしまう人、聞いてみる年齢にも変化があると思いますが、真剣に答えられる人や語れる人はどれくらいいるでしょうか？

私は一秒でも先や明日のことでも将来と思い、語れる人は素敵だと思います。

将来の夢とは何か？

私は、目標をもって実現に向かう先のことを将来と言っても良いのではないかと思います。

（O記）

全国大会 出場決定!!

男子サッカー部

第103回全国高校サッカー選手権大会出場

監督　山田 耕介

皆様方の応援の力で、4年連続27回目の優勝を果たすことができました。準々決勝の前橋商業、準決勝の桐生第一、決勝の共愛学園と、相手は前橋育英を研究し、非常に苦しい戦いが続きました。しかしそのプレッシャーに負けず選手達は自分を信じ、チーム一丸となって戦ってくれました。目に見えないさまざまな圧力がかかり、本来の力を発揮できない時期に、もがき苦しみながら日々の練習に取り組み、何とか県チャンピオンになることができました。全国では、群馬代表として恥ずかしくない試合をし、一戦一戦を戦い抜きたいと思います。応援よろしくお願いいたします。

第103回全国高校サッカー選手権大会
2024/12/28（土）～ 2025/1/13（月・祝）
国立競技場ほか

女子サッカー部

第33回全日本高校女子サッカー選手権大会出場決定

監督　奈良 將弘

この度、群馬県高等学校女子サッカー選手権大会で12年連続の優勝を果たし、2年ぶり10回目となる全日本高等学校女子サッカー選手権大会への出場が決定いたしました。これもひとえに日頃よりご支援、ご声援をいただいている皆様のご厚情の賜物であり、部員一同、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

皆様のご期待に応えるべく、さらなる努力を重ねて、全国大会に臨む所存です。全国の舞台でも全力を尽くしてまいりますので、引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会
2024/12/29（日）～ 2025/1/12（日）
ノエビアスタジアム神戸ほか

男子バスケットボール部

ウインターカップ2024出場

監督　田中 亮多

この度、皆様方の応援のおかげで県予選を制し、2年ぶり17回目のウインターカップ出場を果たすことができました。この場をお借りして心から感謝申し上げます。

準決勝の新島学園、決勝の桐生第一ともに非常に苦しい試合展開でしたが、自分たちの流れが来るまで辛抱強く我慢し、チャンスの場面で一気にたたみかけ何とか勝利することができました。

インターハイでは自分たちの力を発揮できずに終わってしまったので、ウインターカップでは集大成をぶつけ、1つでも多く勝ち上がれるように頑張ります。応援よろしくお願いいたします。

SoftBank ウインターカップ2024
第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会
2024/12/23（月）～ 29（日）　東京体育館ほか

2年生 産学連携探究プロジェクト

本校の総合的な探究の時間では、企業様のお力をお借りしながら、「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現」という探究的学習活動のプロセスを学びます。プロの課題解決に学び、協働学習を通して、主体性やコミュニケーション能力、発想力や課題解決力等を育んでいきます。

6月6日（木） 産学連携講義《大塚製薬》商品開発

本校は2017年より大塚製薬様と産学連携協定を結んでおり、今回はその一環としてのプロジェクトになります。生徒に商品開発を学んでもらうため、第2学年の総合進学・スポーツ・保育コースの約340名の生徒を対象に講義を行いました。この日は講師として大塚製薬株式会社福永伸太郎様をお招きし、商品づくりの基礎についてお話しいただきました。今年度第2学年の総合的な探究の時間では、大塚製薬が販売する商品を題材に、「もし自分が大塚製薬の商品開発部の社員なら、どんな商品を開発するか」を考えていきます。

10月17日（木） 産学連携総合探究発表会

第2学年総合進学・スポーツ・保育コースの総合探究合同発表会が行われました。生徒たちが大塚製薬様の販売する商品「SOYJOY」の新フレーバーやアレンジ商品を考案し、各クラスの代表班が企画を発表しました。第2学年の総合的な探究の時間では、課題発見から解決までの情報収集や整理・分析を行い、課題について解決を図ることを目的として、1学期からプロジェクトに取り組んできました。

高校生ならではのユーモアあふれる新フレーバーや新商品が多く考案され、商品を通じて新たな価値の創造と可能性を探ることのできた活動となりました。

体育祭

体育祭を終えて

生徒会顧問　済田 翔平

10月16日（水）、本校では2年ぶりとなる体育祭が実施されました。天候にも恵まれ、日頃溜め込んだパワーを余すことなく発揮することができたのではないでしょうか。特に、競技に参加した生徒はもちろん、応援の生徒が全体を盛り上げてくれ、最高の一日になったのではないかと思います。

また、生徒会総務や実行委員の生徒たちも企画や運営係としてよく役割をこなしてくれました。この働きを無しにして、体育祭の成功はありえませんでした。この場を借りて感謝を伝えさせていただきます。どうもありがとう！

この体育祭を通してさらに一致団結したクラスで、今後の学校生活も楽しんでもらえればと思います。体育祭お疲れ様でした。

「全国高校サッカー選手権大会出場募金」申込受付中

本校ホームページからのお申込みで、**クレジットカード、ペイジー（インターネットバンキング）、コンビニ支払い**がご利用いただけます。

■URL：https://maebashiikuei-h.ed.jp/donation.php

編集後記

文化委員副委員長　田島 貴子

今年も瞬く間に1年が過ぎ、あっという間に最後の月になりました。3年生にとってはこれからが正念場ですね。

今号の合同誌はいかがだったでしょうか。保護者会からは、さまざまな部活動の保護者の方にご執筆いただきました。我が子への思いなど共感するところがたくさんあったのでないでしょうか。この合同誌が学校での我が子たちの様子を知る一助となれば幸いです。

今回の紙面作りに際しご協力いただいた皆様には、広報委員一同心より感謝申し上げます。

合同誌広報委員

保護者会文化委員会

委員長	金子	忍	
副委員長	堀井	絵美子	
〃	篠崎	友美	
〃	田島	貴子	
〃	山田	直子	
〃	塩浦	逸子	
〃	阿久澤	麻美	
委員	小野	環	
同窓会	福井	和真	
後援会	小椋	靖晃	
学園	黒澤	卓光	
高校	金子	人敏	
〃	高橋	祐二	
〃	五十嵐	邦男	
〃	遠藤		

前橋育英高校報　第29号
発行●前橋育英高等学校／合同誌広報委員会　■前橋市朝日が丘町13
TEL.027-251-7087　FAX.027-251-7094　E-mail:office@maebashiikuei-h.ed.jp
印刷●株式会社ヤマザキ　■高崎市中豊岡町483-8　TEL.027-344-3211（代）